



キリン食生活文化研究所

2019年12月2日  
レポート vol.81

---

～あなたのくらしのアンケート～  
**環境問題に関する意識**

# サマリー

あなたは1年前と現在で、環境への意識について変化がありましたか？

日頃、環境を意識して行っていることについてもご報告します。

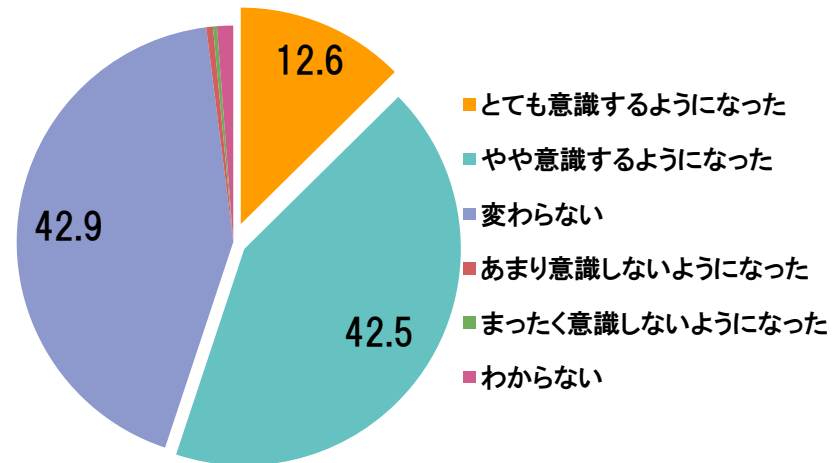
キリン食生活文化研究所は、「環境問題」について調査を実施  
(2019年9月17日～9月24日、全国、ウェブ調査)、  
男女20～79歳 計23,436名の回答をまとめました。

1年前と現在を比べると、55%の人が環境への意識が高くなっていました。フードロス(食品廃棄)問題については45%、  
廃プラスチック問題については44%の人が関心があると回答  
しています。

日頃、環境を意識して行っていることとしては、「マイバッグを持ち歩いている」や「マイボトルを持ち歩いている」が上位に挙げられ、男性より女性のほうがより多く環境を意識して行動しています。年代が上がるほど意識も高く、実際に行動している傾向でしたが、20代は30代、40代より環境への意識が高いようです。

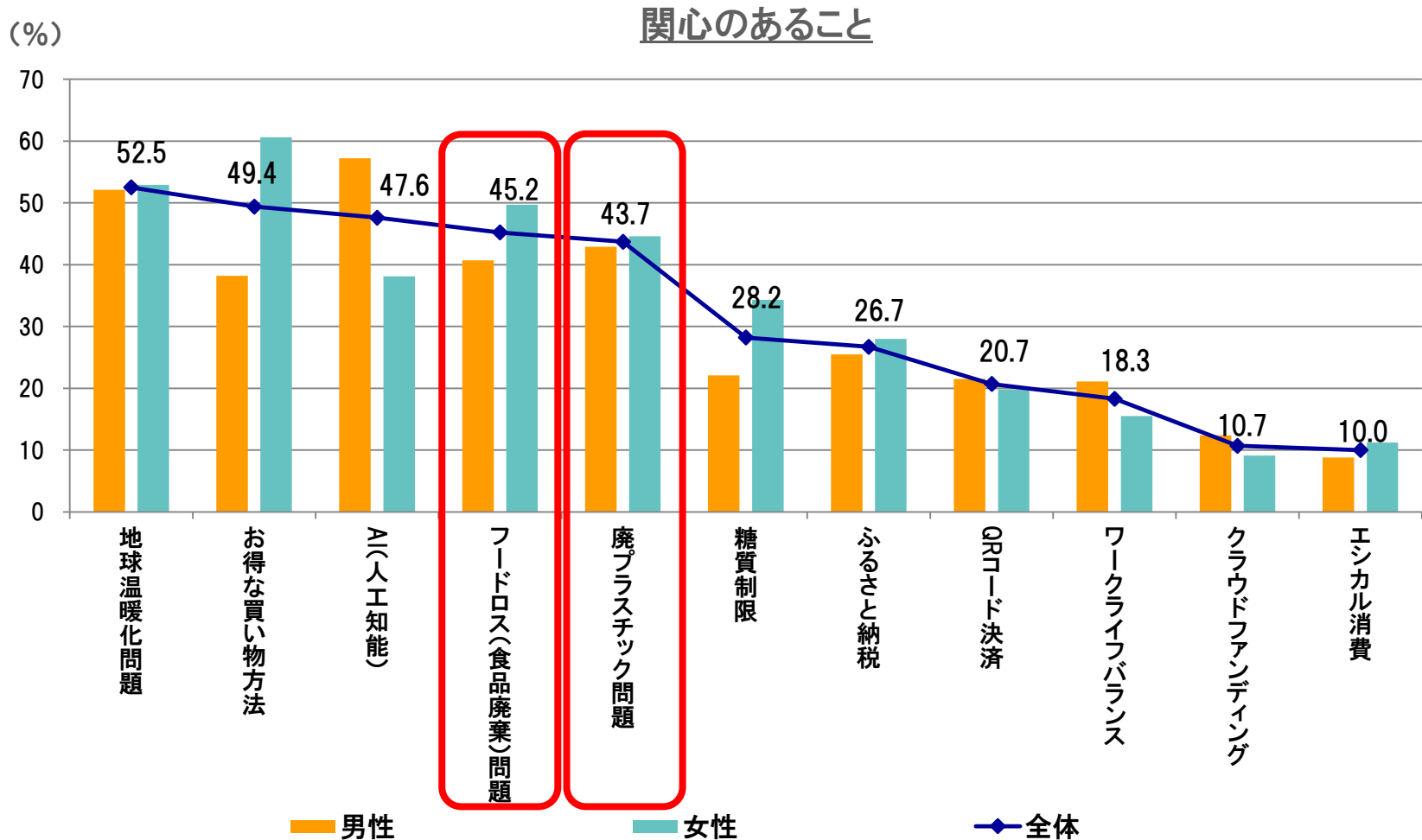
「あなたが環境を意識して買っているものは？」の自由回答からは、環境問題に取り組んでいる企業の商品を積極的に購入しているという回答が多く寄せられました。環境問題を解決していくためには、一人ひとりがどのような生活を送っていけばよいのかを考えるきっかけになれば幸いです。

Q.あなたは1年前と現在で、環境への意識について変化がありましたか？



## Q. あなたが関心のあることは？

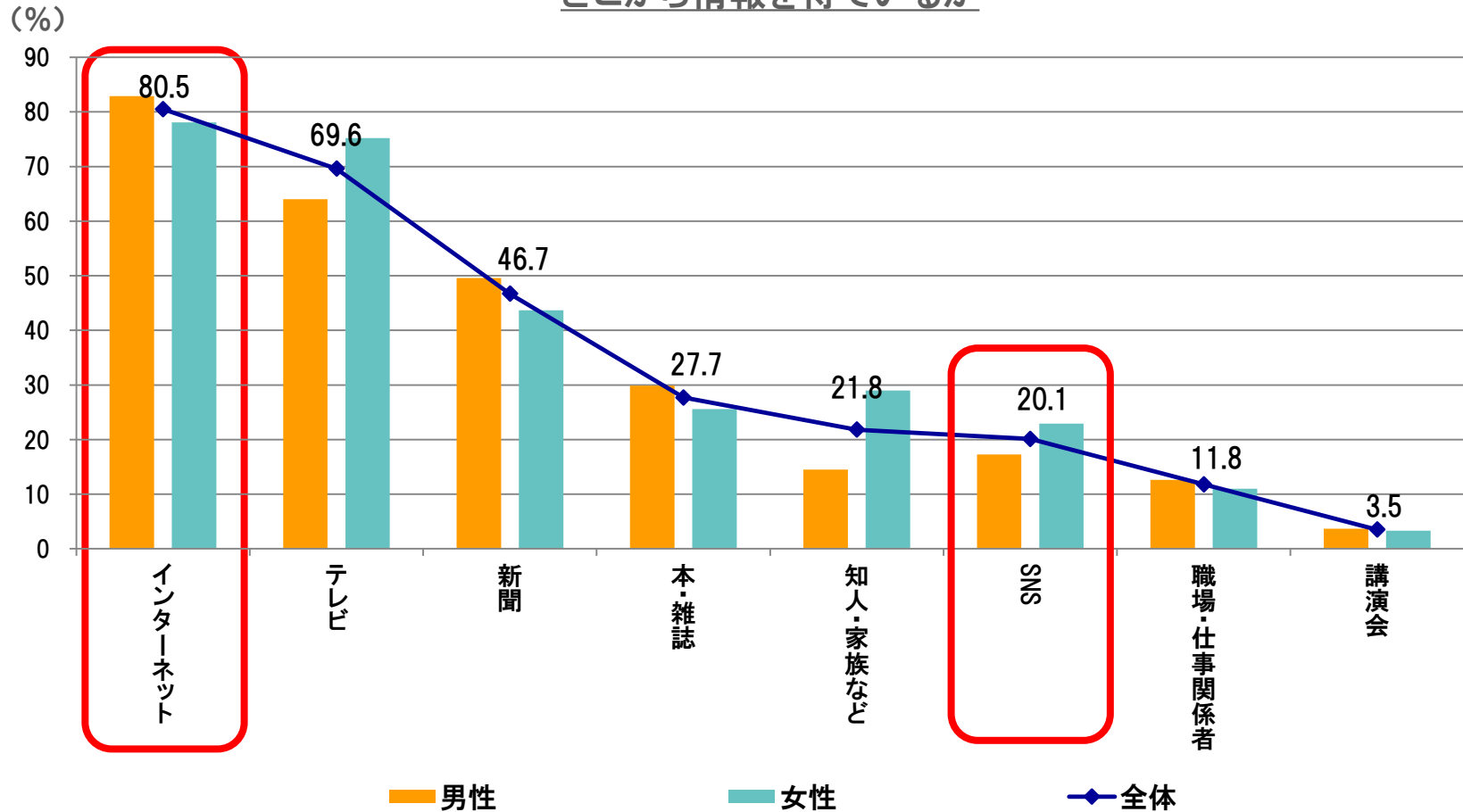
男女ともに高く、全体で1番となったのは「地球温暖化問題」。女性は「お得な買い物方法」、男性は「AI」が最も高く、それぞれ男女間の差がある。また「フードロス」や「廃プラスチック」といった環境問題についても男女ともに40%以上の人に関心を持っている。



## Q.それらの情報はどこから得ていますか？

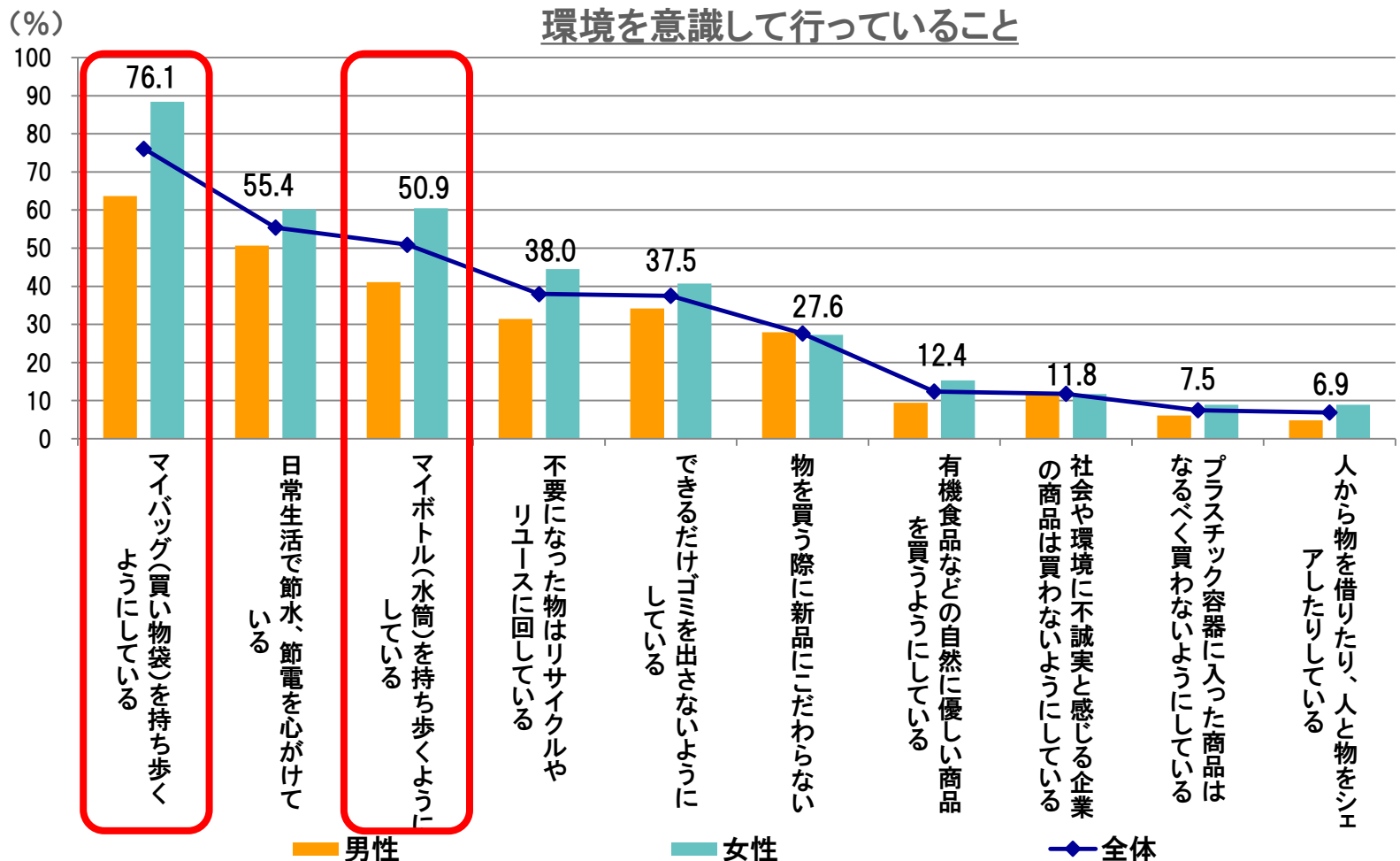
関心があることについて、どこから情報を得ているかを聞いたところ、「インターネット」という回答が80%を超え、最も多かった。以下、テレビ、新聞、本・雑誌といった昔からのマスメディアが続く。利用者の多いSNSだが、関心事の情報源としては20%にとどまる。

### どこから情報を得ているか



## Q.日頃、環境を意識して行っていることは？

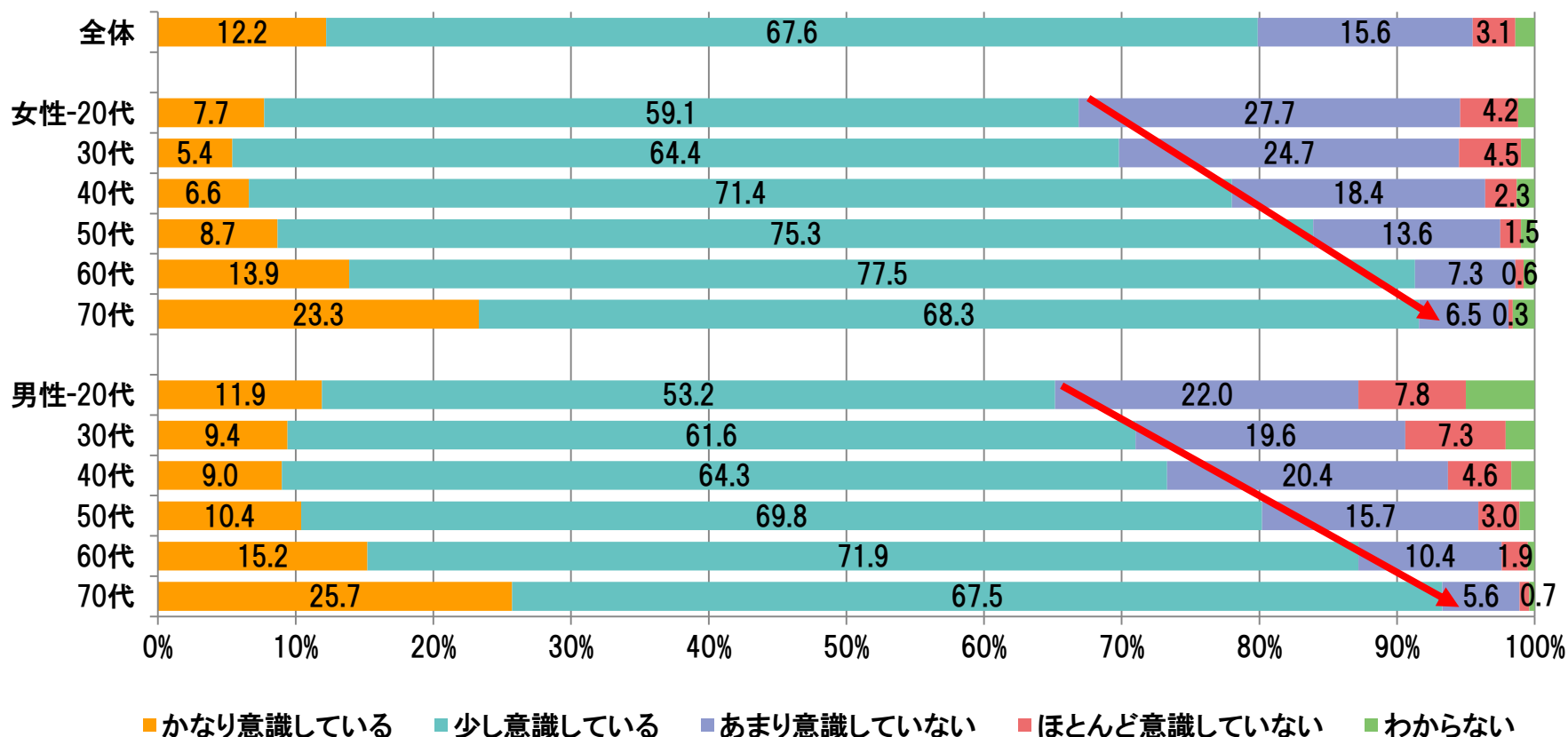
「マイバッグを持ち歩くようにしている」が男女ともに最も多く、76%の回答となった。女性は90%近くの方が持ち歩いている。「マイボトルを持ち歩くようにしている」も多く、50%の回答を得た。全体的に男性よりも女性のほうが、環境を意識して行っていることが高い傾向。



## Q. 普段の生活や行動で、どのくらい環境を意識していますか？（性・年代別）

「かなり意識している」「少し意識している」を併せると、男女ともに年代が上がるほど、普段の生活や行動で環境を意識している。「かなり意識している」だけで見ると、男女ともに20代が30代、40代よりも多い結果となった。

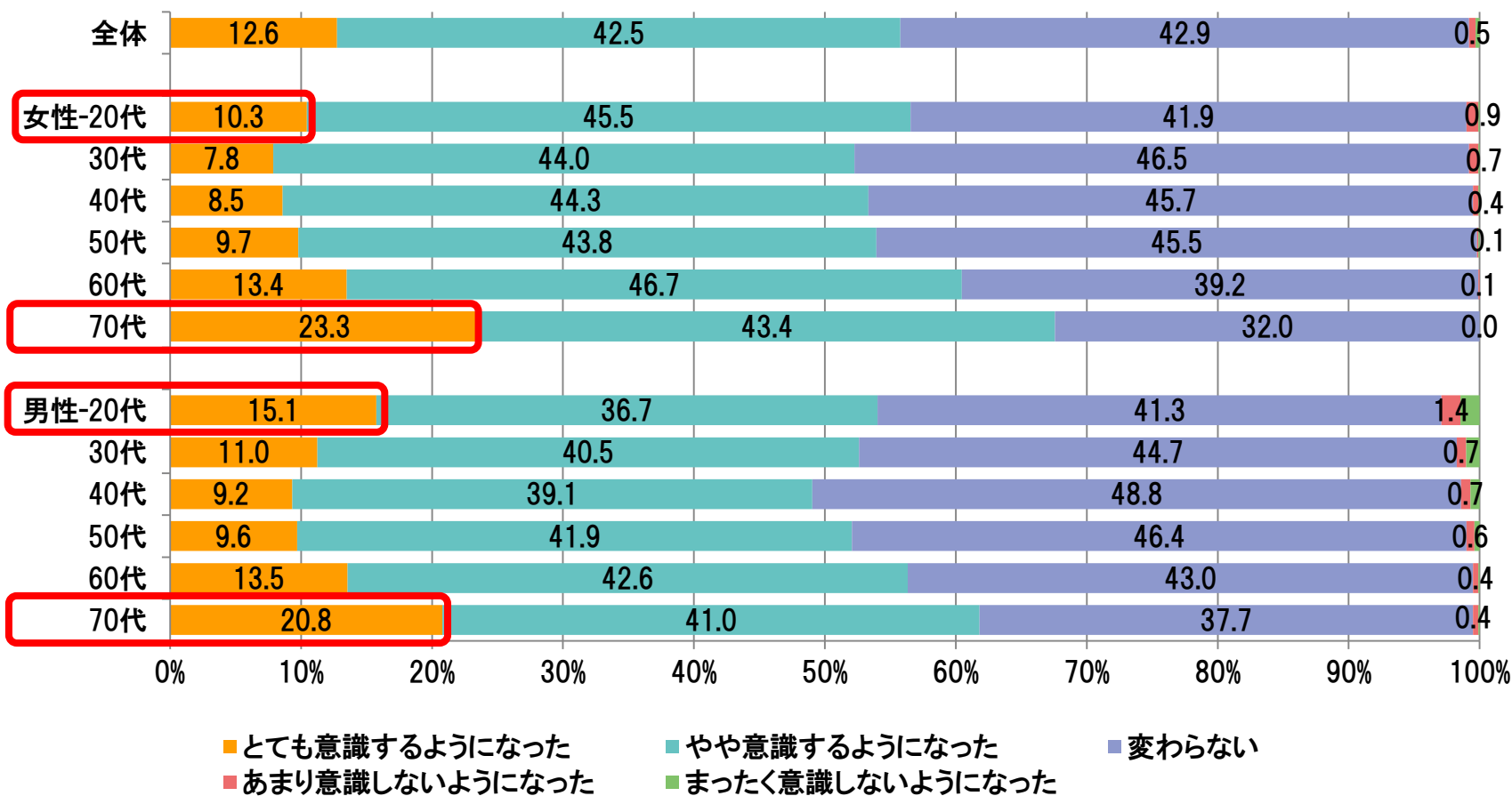
### どのくらい環境を意識しているか



## Q.1年前と現在で、環境への意識に変化がありましたか？（性・年代別）

1年前と現在の、環境への意識の変化を聞いたところ、男女ともに全年代で、半数以上の人の意識が高くなっている。特に、70代男女の「とても意識するようになった」は他年代と比較して多い。また、20代の「とても意識するようになった」は、30代、40代、50代よりも多い。

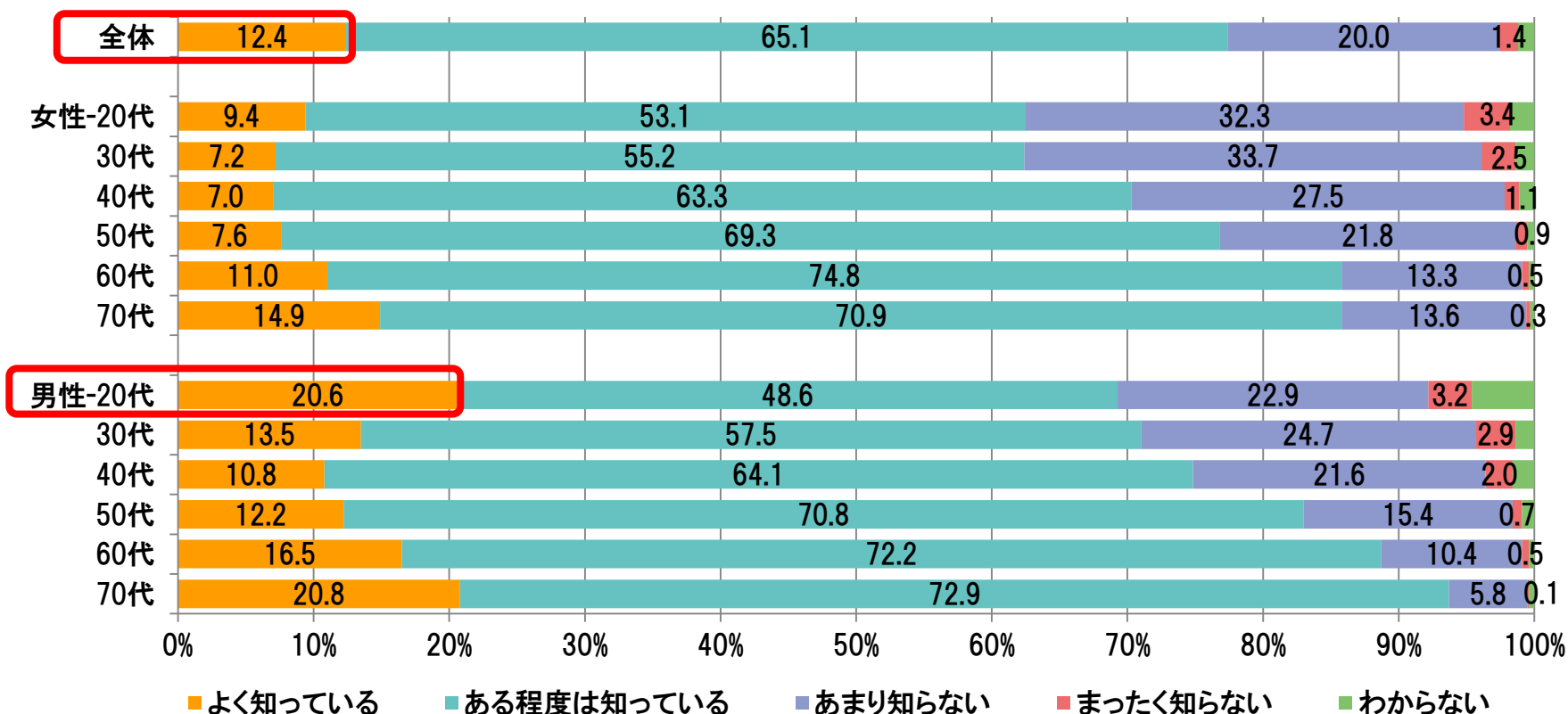
環境への意識の変化



## Q.廃プラスチックによる影響を知っていますか？（性・年代別）

廃プラスチックによって、どのような影響があるか、「ある程度知っている」人は全体で65%と多い。しかし「よく知っている」人は12%にとどまる。性・年代別に見ると、70代男女が多くなっているが、20代男性も多く、20%を上回る結果となった。

廃プラスチックによる影響を知っているか

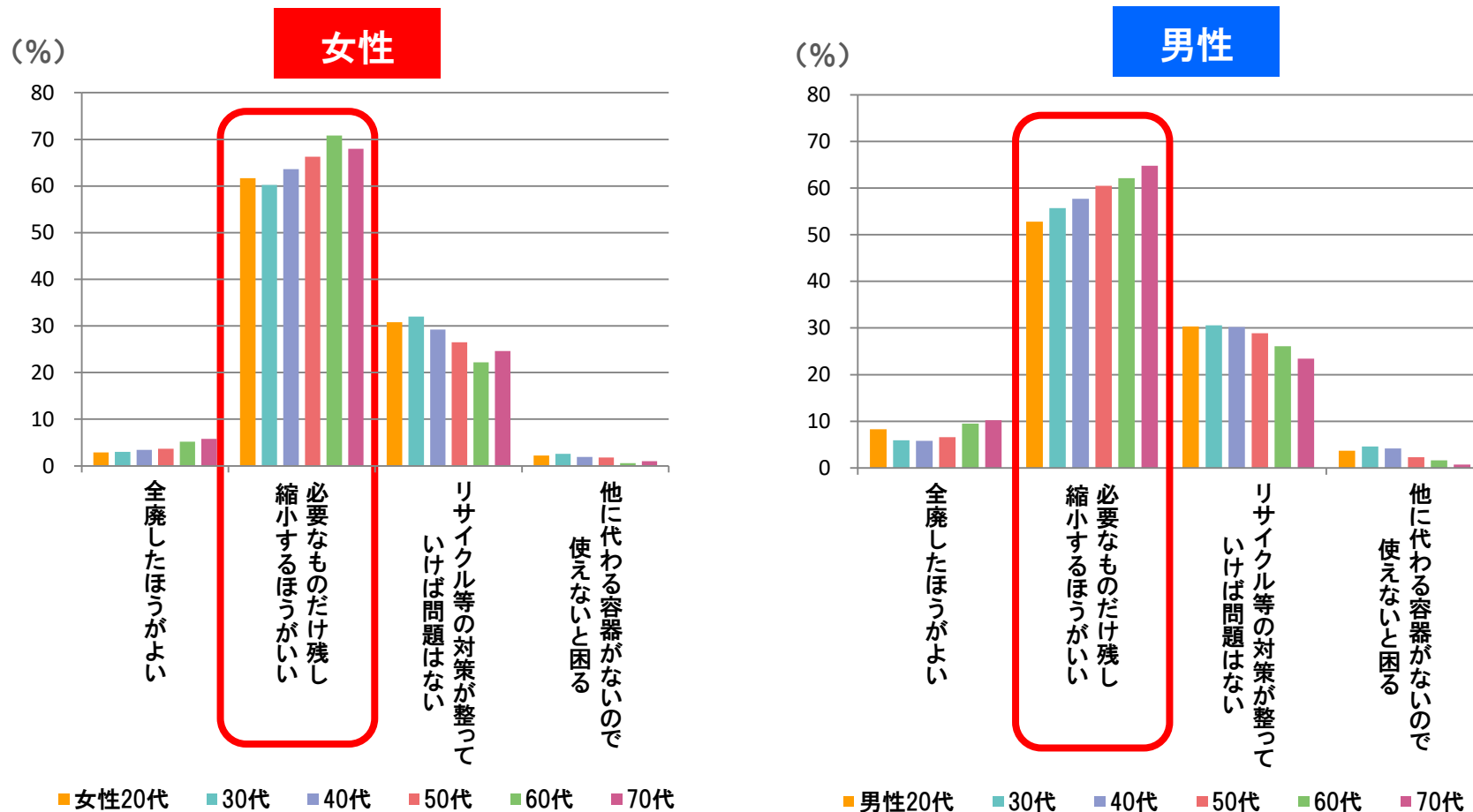




## Q.プラスチック容器入りの商品について、どう思いますか？(性・年代別)

プラスチック容器入りの商品についての考えを聞いたところ、「全廃したほうがよい」とまで考える人は10%を下回っており、「必要なものだけを残し縮小するほうがよい」が圧倒的に多い結果となった。男女ともに年代が上がるほど、高くなる傾向。

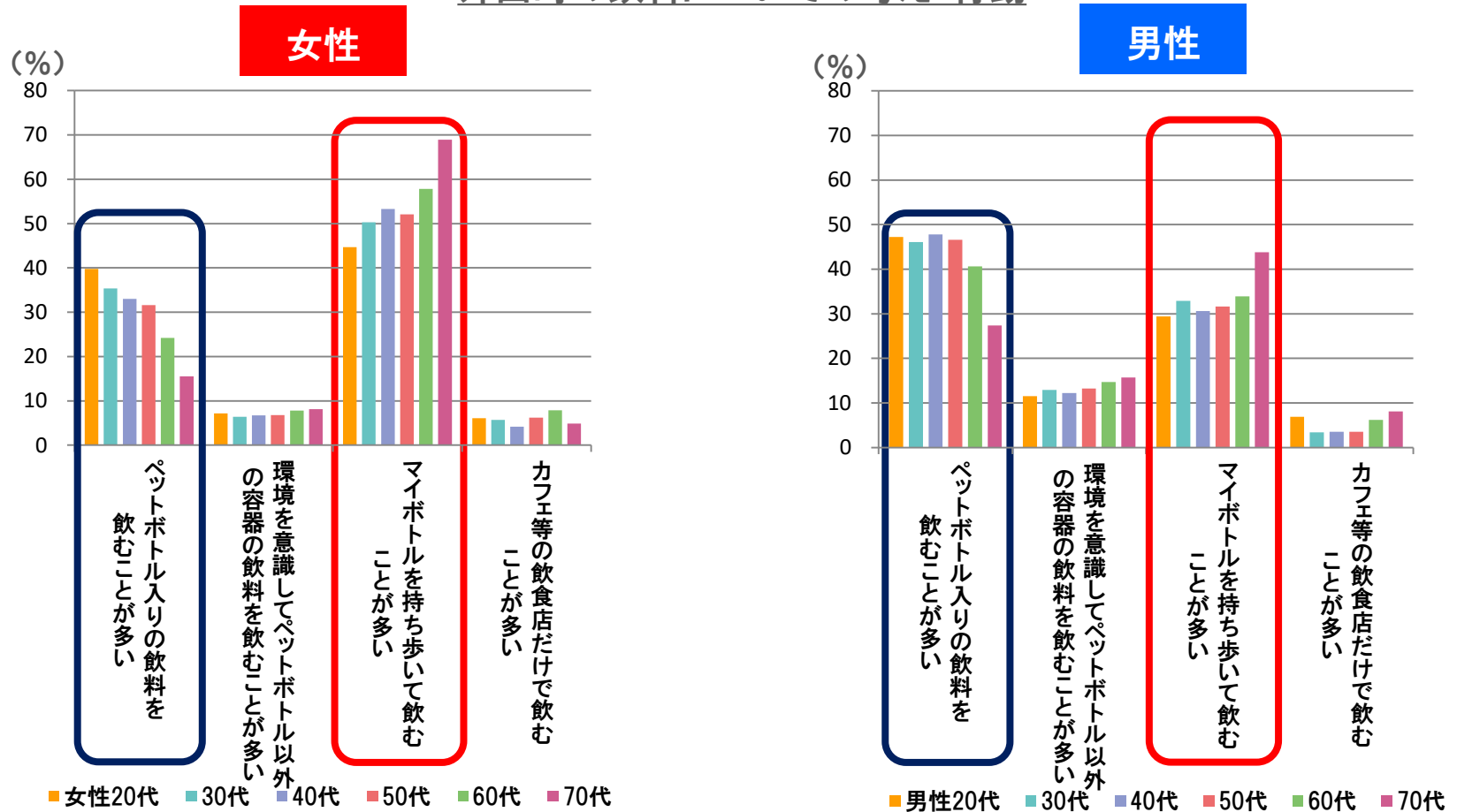
### プラスチック容器入り商品についての考え



## Q.外出時に飲む飲料の容器についての考えや行動は？(性・年代別)

女性は全年代で「ペットボトル入りの飲料を飲むことが多い」より、「マイボトルを持ち歩いて飲むことが多い」の割合が高くなっている。一方、男性では70代以外は「ペットボトル入りの飲料を飲むことが多い」の割合が高い結果となった。

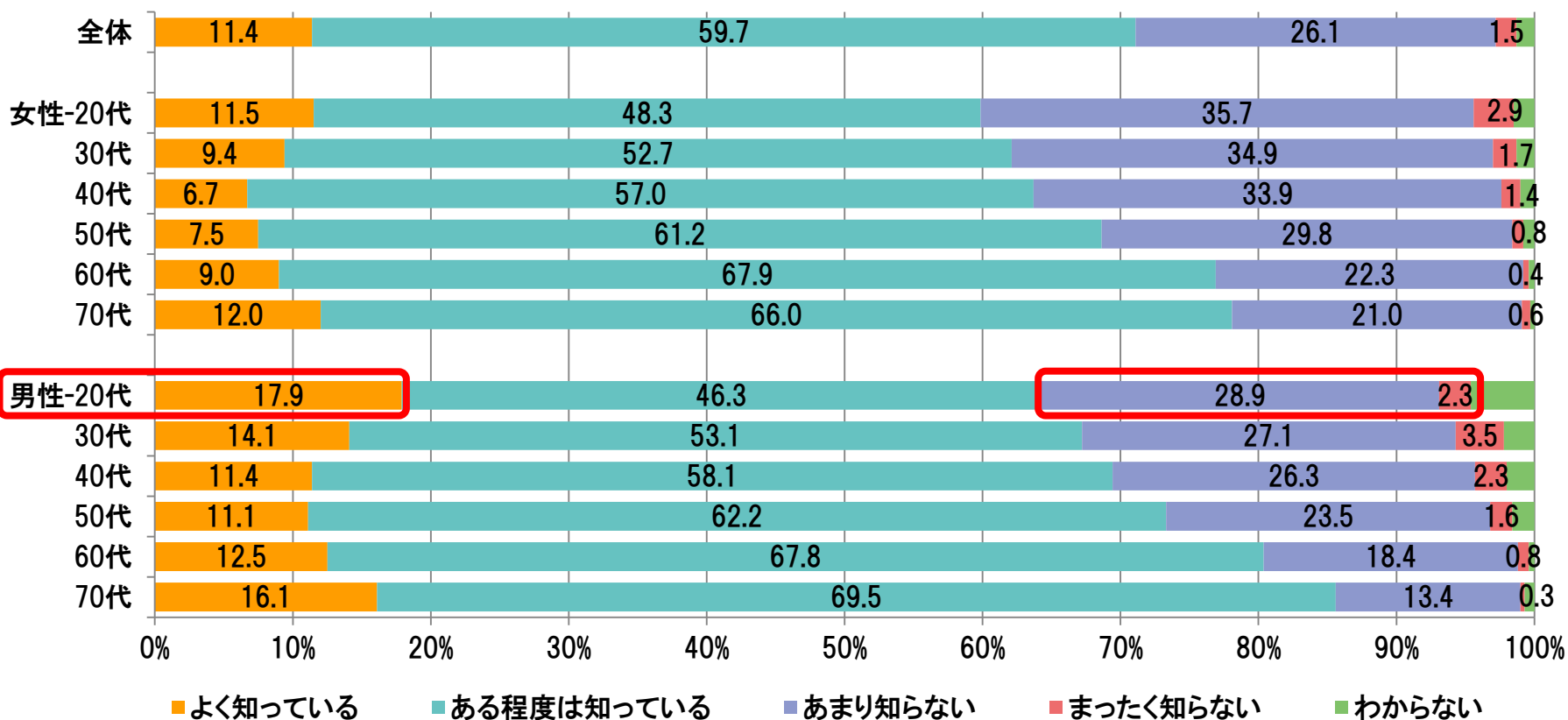
### 外出時の飲料についての考え・行動



## Q.フードロス(食品廃棄)による影響を知っていますか？(性・年代別)

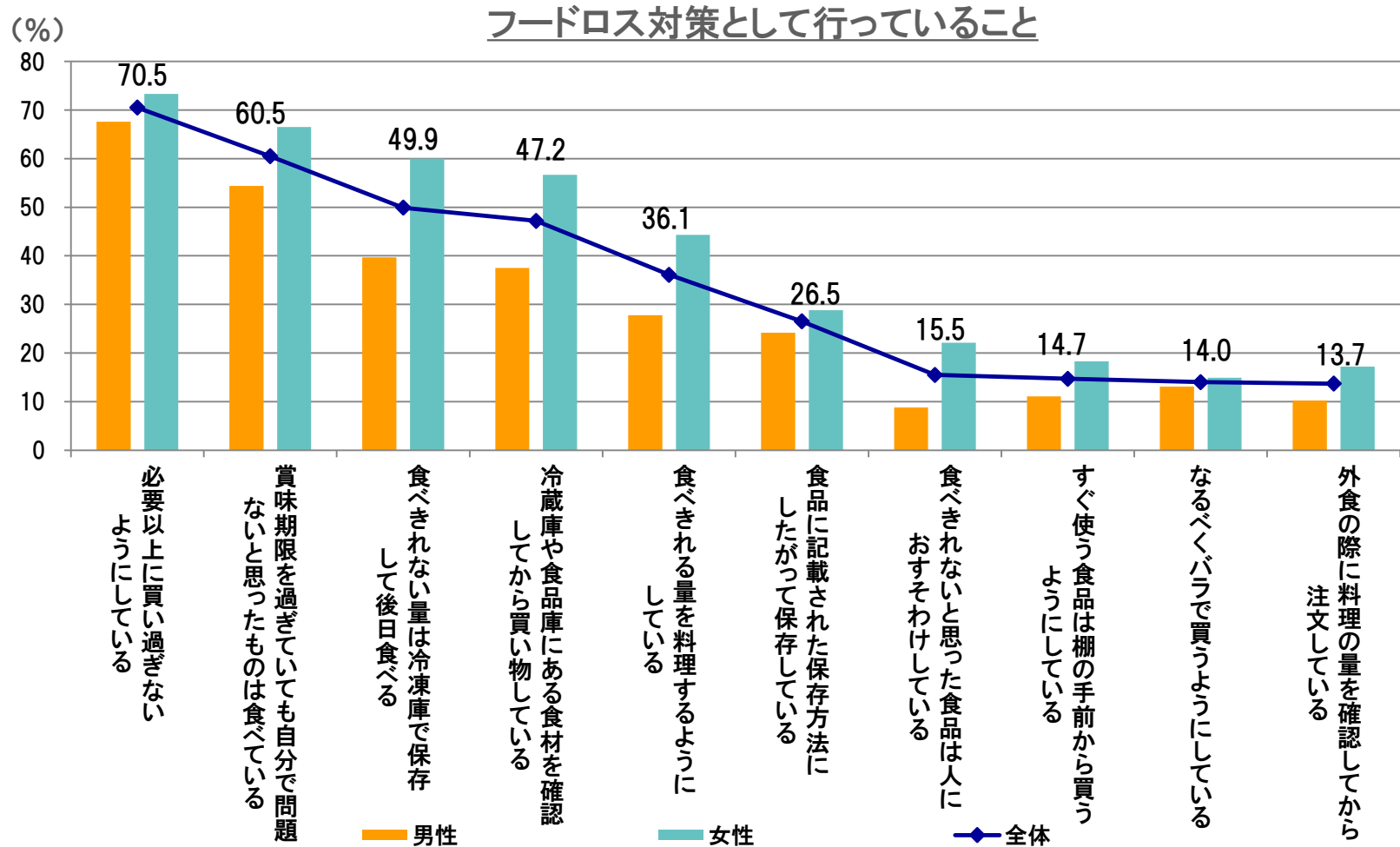
「よく知っている」「ある程度は知っている」を併せると、男女ともに年代が上がるほど、フードロスによってどのような影響があるか知っている割合が多いが、「よく知っている」だけで見ると、20代男性が最も多い。しかし、知らない人も多く二極化していることがわかる。

フードロスによる影響を知っているか



## Q. あなたが日頃、フードロス対策として行っていることは？

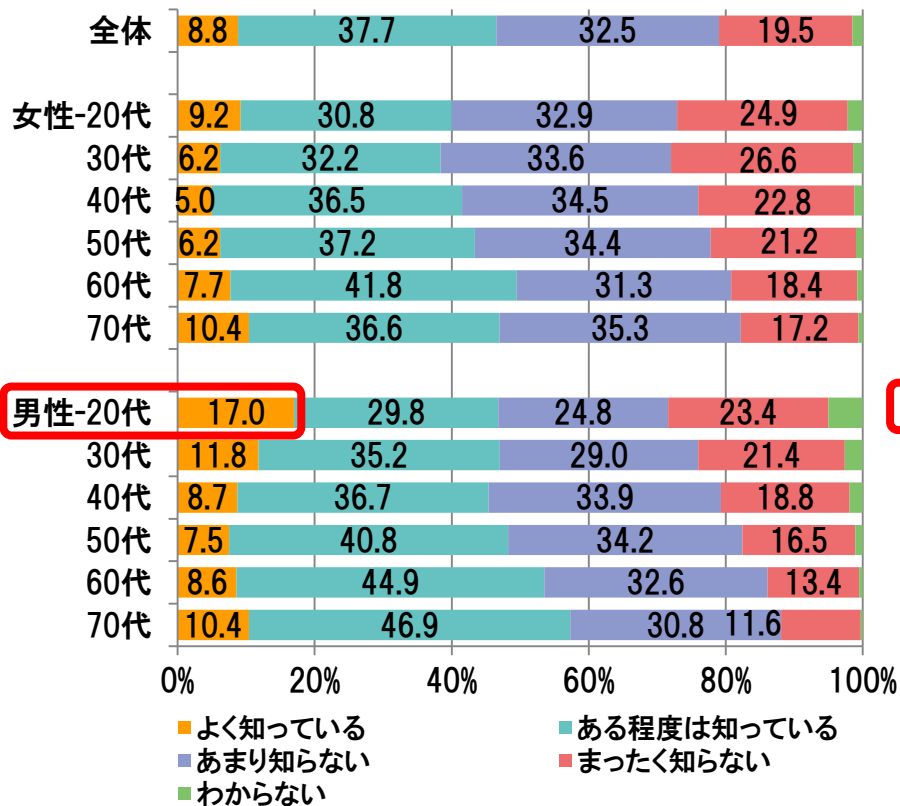
「必要以上に買い過ぎないようにしている」が男女ともに最も高く70%程度となっている。それ以外についても、ほとんど男女で同じ順位となっているが、全体的に女性のほうが男性よりも高くなっており、フードロス対策として様々なことを行っている人が多いことがわかる。



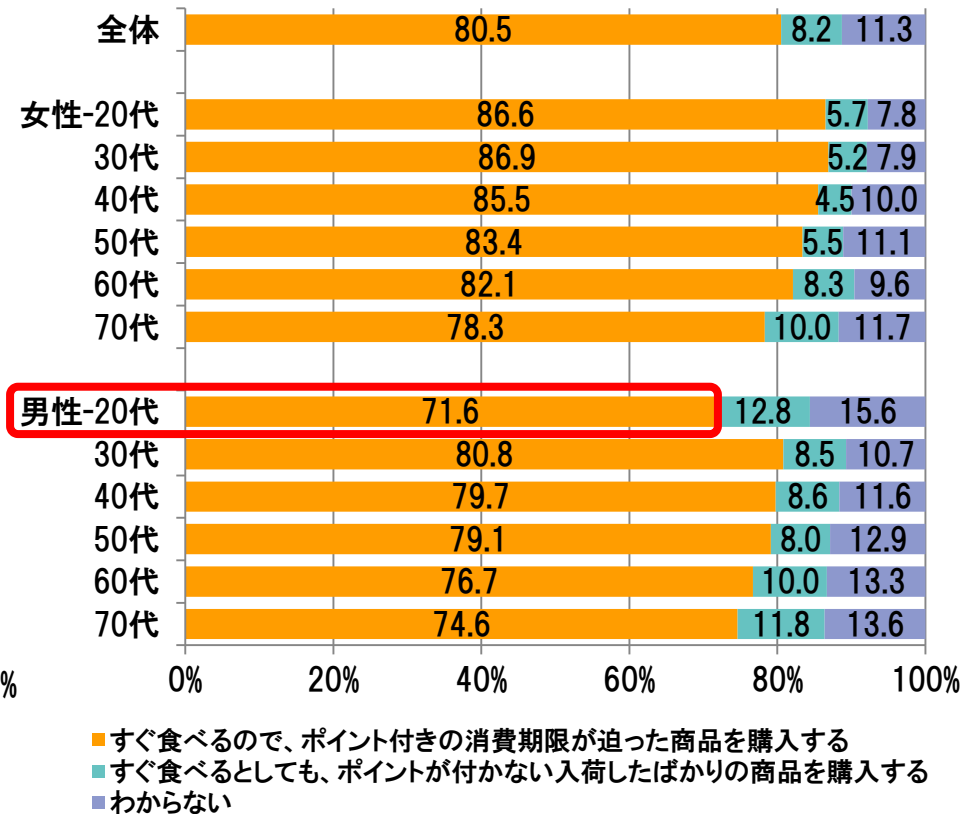
## Q.コンビニのポイント還元施策について（性・年代別）

コンビニ大手がフードロス削減のために、消費期限の迫った商品を購入したお客様へのポイント還元施策を始めていることについて、性・年代別に見ると、「よく知っている」人は20代男性が一番多い。しかし、「すぐ食べるので、ポイント付きの消費期限が迫った商品を購入する」人の割合は一番少ない結果となった。

### ポイント還元施策を知っているか



### どちらの商品を購入したいか



## Q.あなたが環境を意識して買っているものは？（自由回答）

日用品や食料品を購入する際に、ゴミになるものを使っていない商品を選んでいるといった回答や、市販品を買うとゴミが出るため、炭酸水やヨーグルトなどは自分でつくっているという回答もあった。また、環境問題に取り組んでいる企業の商品を積極的に購入しているという回答も目立った。

### 環境を意識して買っているもの（自由回答）

トイレットペーパーは芯がないものを買っている。(30代男性)

家で飲む水はラベルレスのものにしている。(40代男性)

炭酸水が作れる機械。(40代男性)

薪ストーブ。電気やガスを使わずにお湯を沸かしている。(60代男性)

「地球を救う」ことが社員の使命であるパタゴニア社の商品。(20代男性)

企業が環境問題に取り組んでいるか否かを前提に考える。(70代男性)

#### ゴミを減らす

トレーを使わず、袋に入ったお肉を買っている。(60代女性)

洗剤、シャンプー、リンスはいつも詰め替え用を使っている。(70代女性)

#### 自分でつくる

ヨーグルトメーカー。味噌などの発酵食品もつくることができるので便利。(50代女性)

#### 省エネ

冬は湯たんぽ、夏は氷枕を使っている。(20代女性)

廊下、トイレ、玄関の照明を人感センサーのものに付け替えた。(40代女性)

#### 企業姿勢

環境、森林に優しいリサイクル商品が多いネピア社のトイレットペーパーやティッシュペーパーをいつも買っている。(30代女性)